

交流文化学科		教授	鈴木 涼太郎	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	地域連携活動と連動したフィールドワークの実施	2009年8月～	新潟県佐渡島の伝統芸能(鬼太鼓、能など)への参加を通じて、学生が地域の社会や文化を学ぶ場を提供するとともに、地元のまちづくり関連活動の支援を行っている。	
2	講義における画像、映像の活用	2008年4月～	観光を学ぶ学生に観光地や観光産業の現状を深く理解してもらうために、画像や映像の教材を積極的に活用している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『観光社会文化論講義』	2006年3月	分担執筆。第3章を担当。	
2	『観光文化学』	2007年12月	分担執筆。みどころ3を担当。	
3	『よくわかる観光社会学』	2011年3月	分担執筆。IV-11, X-14担当。	
4	『観光入門—観光の仕事・学習・研究をつなぐ』	2011年4月	分担執筆。第20章担当。	
5	『観光概論(第9版)』	2013年2月	共著。第3部第1章～第3章担当。	
6	『観光経営学』	2013年10月	分担執筆。第15章担当。	
7	『観光学ガイドブック』	2014年4月	分担執筆。第4部9担当。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	「観光教育・研究におけるデジタルアーカイブの活用—講義での画像活用事例をめぐる考察」	2008年11月	共同発表。(日本観光研究学会 第23回全国大会 於長野大学)	
2	「観光教育における『現場の知識』の活用に向けて—パッケージツアーの価格決定における『勘と経験』をめぐる考察」	2010年1月	『観光ホスピタリティ教育』(日本観光ホスピタリティ教育学会)第4号所収。	
4 その他教育活動上特記すべき事項				

交流文化学科	教授	鈴木 涼太郎	大学院の授業担当 無
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
	【学会活動】		
2001年4月～現在	日本観光研究学会 会員		
2002年4月～現在	日本文化人類学会 会員		
2003年4月～現在	日本生活学会 会員		
2008年4月～現在	日本観光ホスピタリティ教育学会 会員		
2005年4月～現在	総合観光学会 会員		
2011年7月～現在	環太平洋ツーリズム学会 会員		
2012年2月～現在	観光学術学会 会員		
2012年6月～現在	Asia Pacific Tourism Association 会員		
	【社会活動】		
2013年4月～現在	新潟県佐渡市地域振興官民協働委員会 専門委員		
2009年4月～2015年3月	小江戸川越検定委員会 部会委員		
その他			
<p>・科学研究費助成事業</p> <p>基盤C(代表)「観光みやげにおける生産地と販売地の乖離に関する基礎的研究」(平成24年度～26年度、課題番号24611024)</p> <p>基盤C(分担)「訪日韓国人旅行者の観光行動に関する研究:量的及び質的調査を用いた旅行障壁の分析」(平成22年度～24年度、研究代表者:折戸晴雄、課題番号20730536)</p> <p>基盤B(分担)「途上国における国内観光成長の歴史的背景と社会・文化的影響に関する総合的研究」(2015年度～2018年度、研究代表者:稲垣勉、課題番号15H03147)</p> <p>基盤B(分担)「ツーリズムにおける『スピリチュアル・マーケット』の展開の比較研究」(2016年度～2018年度、研究代表者:山中弘、課題番号16H03329)</p> <p>基盤B(分担)「現代社会におけるツーリズム・モビリティの新展開と地域」(2017年度～2019年度、研究代表者:神田孝治、課題番号17H02251)</p> <p>基盤C(分担)「『買い物弱者』としての在外子育て家庭の研究:国内流通課題への適応可能性」(2015年度～2018年度、研究代表者:久保康彦、課題番号15K13052)</p> <p>・受賞・表彰歴</p> <p>2003年12月 一般財団法人アジア太平洋観光交流センター 第11回観光に関する学術研究論文 奨励賞受賞</p> <p>2009年5月 日本観光研究学会 学会賞(論文奨励賞)受賞</p>			